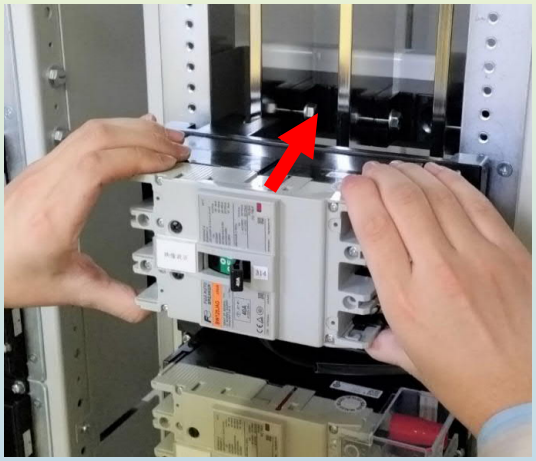
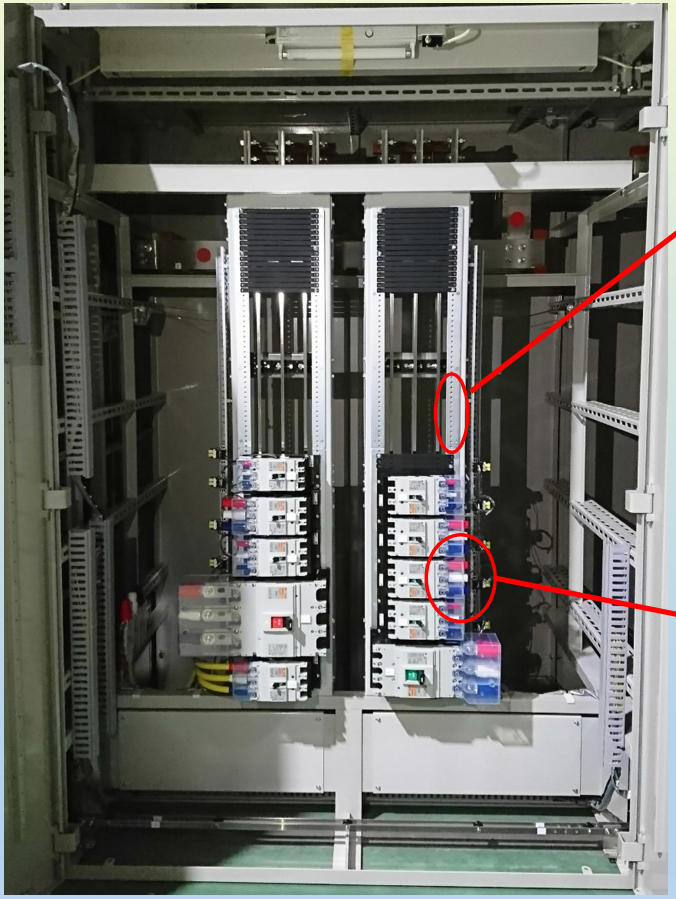
1．プラグイン接続

分岐ブレーカー次側プラグイン端子構造の採用



主母線への接続はブレーカを
差し込み固定するだけ



ブレーカの取付ピッチを
15mmで統一

100AF～630AFまで
どの位置でも取付可能

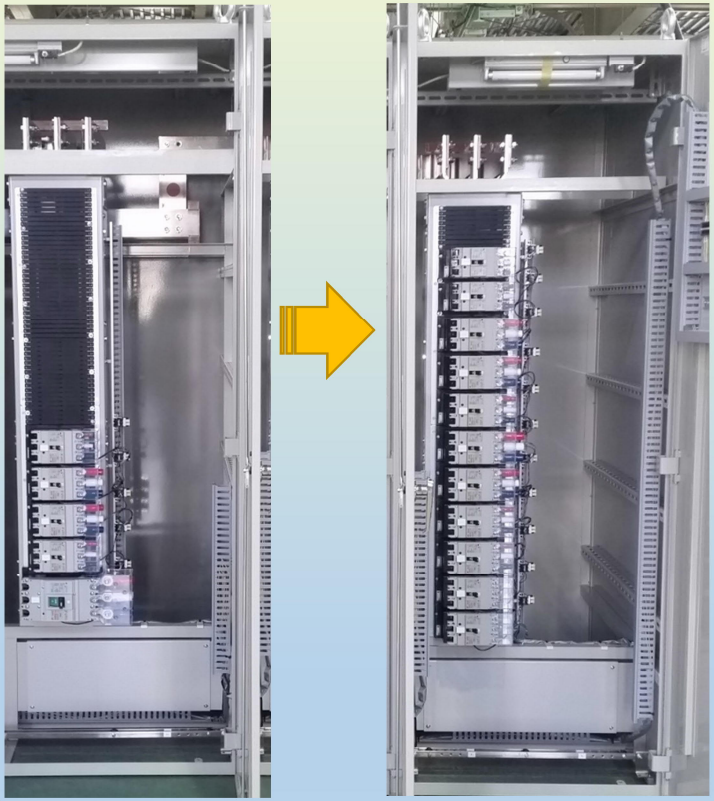
負荷側端子カバーを標準装備

2．プラグインブレーカのメリット

メリット①

仕様変更への柔軟性

ブレーカの交換・追加・変更が容易

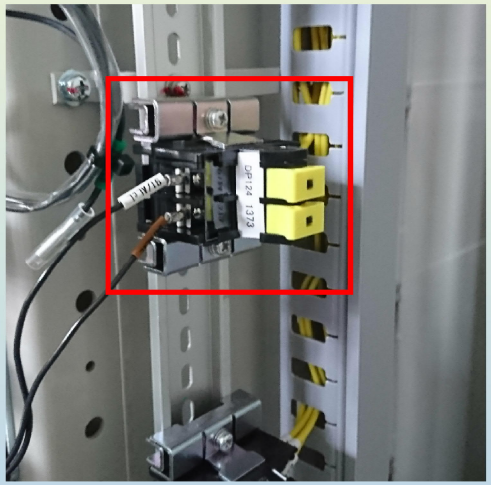


・負荷容量変更による交換
・設備の増設による追加
・ELCBなどへの仕様変更

なども容易に対応可能

分岐銅帯ややブレーカ電源側ねじ締め作業が不要となり、増設・仕様変更などでも停電作業時間を大幅に短縮できます。

ブレーカ交換時の制御回路の配慮



ユニット毎に断路端子台を装備

ブレーカ警報接点の接続も制御回路から切り離しユニット単位で無充電になるため安全な作業ができます。

メリット②

配電盤の小型化

従来品（表面形）

盤幅 800mm

プラグイン形

盤幅 700mm

主母線に直接差し込むので分岐ブスバーのスペースが不要です。配電盤の横幅を小さくできます。

※ 盤幅は225AF以下で外線サイズ100㎟以下を想定

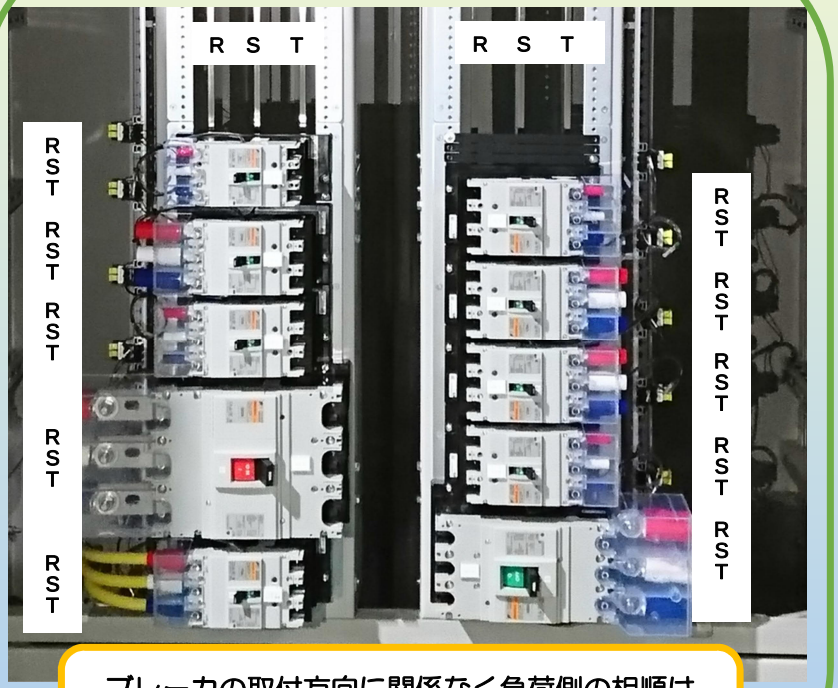
3. 安全性

充電部保護、誤結線防止

充電部の保護

全ての空きスペースにブランクカバーを
取り付けるため母線銅帯が露出しません。

相順の統一



ブレーカの取付方向に関係なく負荷側の相順は
上からR・S・Tに統一できます。

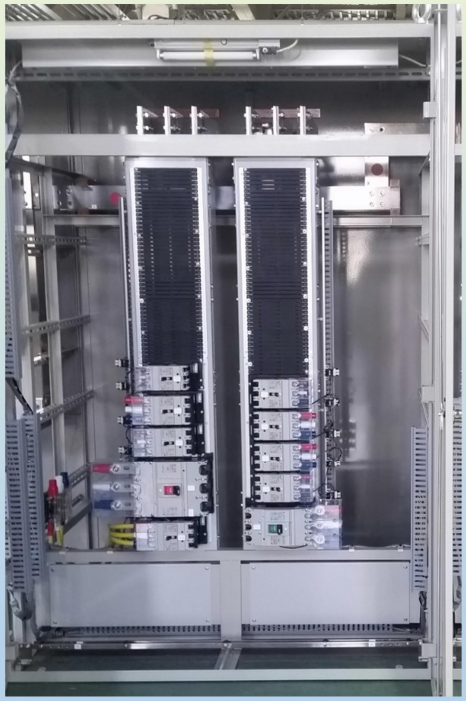
4．ユニットパターン

ユニットを組み合わせるだけで回路数に応じた列盤が可能

1ユニットタイプ

ユニット定格
1500A

2ユニットタイプ



ユニット定格
1500A　x2

2＋1ユニットタイプ

ユニット定格
1500A　x3